

こんにちは、プリズムレコード主催の鈴木です。

もう何度目かになります。先日はプリズムレコード9に参加して頂きありがとうございます。

(まだ参加してないよ、という方は機会があれば是非)

今回アフターイベント、即売会閉場後のじゃんけん大会にて色々至らぬ点があった事をまずお詫びいたします。

毎回何が正解か解らない中ではあります。場所や時間、やり方その他色々と考えて行っています。なかなかこれだ、というやり方は見つかりませんでした。

長い文章は読みたくないよ、という方もいらっしゃると思うので最初に結論を書きます。

次回以降、所謂「アフターイベント」はやりません。

※じゃんけん大会以外でもやりません。

代わりに開催中の時間(会期が12:00~15:30だとしたら14時過ぎ位)に本部または待機列作成スペース等でくじ引きやガラポンを利用した記念品の抽選会的な事をやろうと思います。

とはいえなぜそうしたか、をご説明する事も必要だと思いますので下に書いていきますので興味のある方は是非読んで頂ければ有難く思います。

目次(?)

- 1:プリレコで何故アフターイベントをやっているのか。
- 2:1人1個までの勝ち抜け? 方式を何故選択しないのか。
- 3:他の方式を取らないのは何故か。
- 4:その他

1:プリレコで何故アフターイベントをやっているのか。

まず1つ目ですが何故アフターイベント行っているのか、ですが他のイベントさんは解りませんがプリレコでは一般参加者さんに出来る限り会場に長く滞在して貰って、サークルさんのスペースを見たり本やグッズ等を買って頂くきっかけに繋がれば今よりも少しでもその機会が増えればいいな、という事が理由でアフターイベントを続けていました。

2:1人1個までの勝ち抜け? 方式を何故選択しないのか。

2つ目の勝ち抜け? 方式を選択しない理由ですが、1人1個までは公平に見えるルールですし、実際に景品を貰うという点においては公平でいいなと思います。

ただしこの方法を選択するというのは「欲しい景品」を選択するという事で同時に「欲しくない景品」という選択をする事でもあります。

そしてこの欲しい・欲しくないという2択を続けるという事は景品に順位をつける事にもなります。

僕は主催としてサークルさんに順位をつける事はしていませんし、したくないです。ましてや好意から頂いた景品に順位をつけるのは僕の主義に反する事でもあります

なので無意識にでも順位をつける行動に繋がる勝ち抜けは今まで選択できませんでした

3:他の方式を取らないのは何故か。

抽選やビンゴその他色々なやり方があると思いますが2番目の理由と同じだったりそもそも盛り上がるのか？等理由があり、最終的にはじゃんけん大会に戻ってくるというのが理由です。

4:その他

4番目のその他はもう本当に色々細かい部分の積み重ねですね。時間的な理由、機材的な理由、場所の問題。

会場内で行えばサークルさんに撤収を急かす事になるので事故につながりやすくまた追い出すような形になるので望ましくない。

有難い悲鳴ですが景品をご提供頂ける数が増えた結果、メッセージもまともに読めずとにかくじゃんけんをやって分配して終わり、のような印象になってしまう。人が増えれば場所もとりに、ではどこでやるのか？の問題が常についてくる。

他にも細々と色々な理由の積み重ねがあります。ただ最終的に所謂アフターイベントをやらないと確定させたのには

- ・絵を描く、何かを作るという行為と結果はそもそも大変である。
>>時間や情熱などコストが高いものです。
- ・前述の通りですがその作品に「順位をつける」という事に僕がどうしても耐えられない。
- ・即売会が主体で、そのおまけ要素であるアフターが即売会本体に浸食するのは果たしてそもそもの目的から考えるとどうなのか。
- ・景品をご提供頂ける方たちが嫌だな、と思う事は正直したくない。

等が最終的な結論に至る際に考えた事です。

こういう事はやめる時は「もう誰も望んでないからやめる」という段階まで続けてしまうと只管印象だけが悪くなり「楽しくない」が積み重なるのでここでいっそ止めよう、という選択を取らせて頂きました。

その上で代替案、つまり当初の

「一般参加者さんが会場に滞在する時間を延ばしサークルさんの頒布物を
見て貰う時間やきっかけに繋げる」

という目的を達成するために、準備会として記念品程度になりますが
ポスターやその他何かしらの提供をさせて頂いてくじ引き等の
抽選をする事で目的につなげられれば、と考えています。

カタログ1冊にチェックをつければ1人1回までになりますし
サークルさんに大変な思いで作って貰ったものを望まない形で
提供する事も避けられる。

そういう意味でよい選択になればいいなと思っています。

今後このやり方を続けていく中で「やっぱりじゃんけん大会を...！」と
強く望む声が多くなった時にはまた考えてみようと思います。

長々とした理屈と感情の混ざった告知にお付き合い頂きありがとうございました。

まだまだ足りない事が多いイベントではありますが
少しでも楽しい場として続いていくよう頑張りますので
今後も応援頂ければ何より有難く思います。

プリズムレコード主催
鈴木雄二